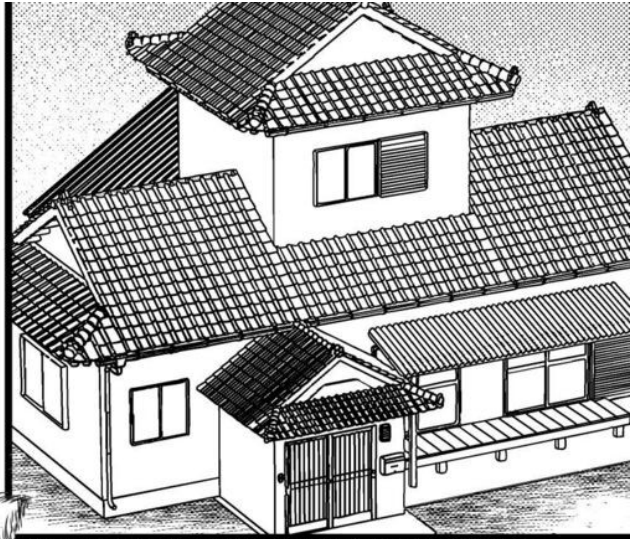




ヤンデレ妖怪

～嫉妬深い九尾の狐さん編～





ご主人？

この子は
九尾の狐の
クレハ



ほお



あれは
迷ってた人で



ちゅ



クレハと
であったのは



続きは
床で聞きましょう



弱っている
狐を見つけた

この家を継いだ
きっかけで
引っ越してきて



ここでの
生活に
慣れたころ



すごい拾いもの
してしまった



それにしても
九尾の狐か

看病すると
次第に具合は
良くなっていった



数日が過ぎ
ある満月の夜

狐は人の姿になって
自分の前に立っていた



怖い：
はずなのに



人の子よ
助かったぞ



私の名前は
クレハ



助けてもううた
礼じや



驚いてるわりに
頬が赤いのう

こ...これは



あなたが
あんまりにも
きれいだから
え!?



：コホン
そうか
ならば

わぁ...

「縛り身」の自分に
断る理由はなかった



わぁ♡



夜の相手に
なってやろう



1回体を
重ねてしまうと

お互い
夢中になっ
て

体を何回も
重ねている
うちに

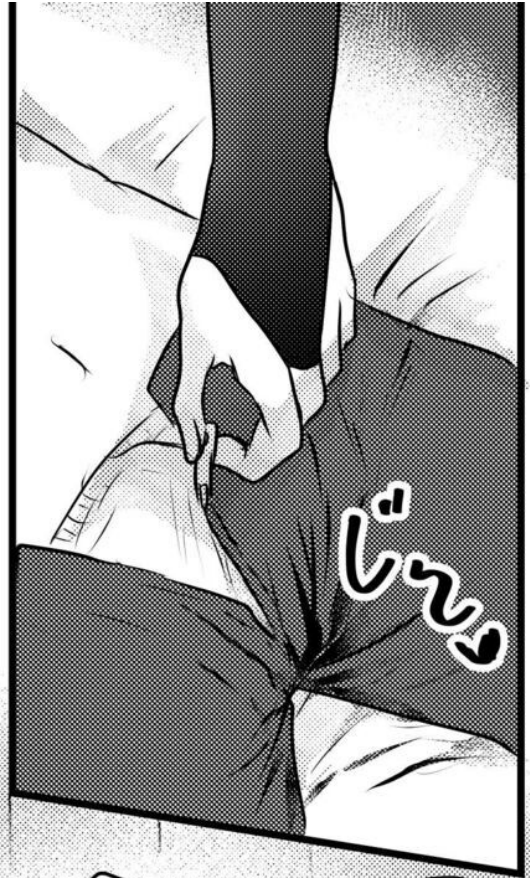
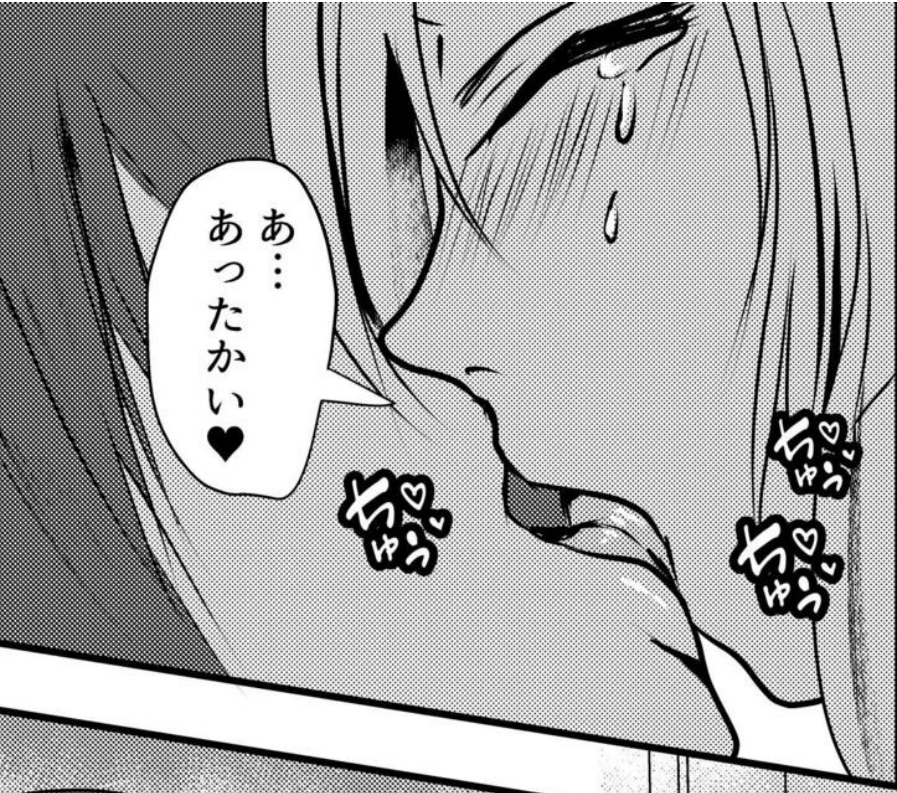
夫婦関係に
なっていた

しかし
一緒に暮らすうちに
気付いたことがある



クレハは
妙に嫉妬深い







ご主人が
あたたかくて



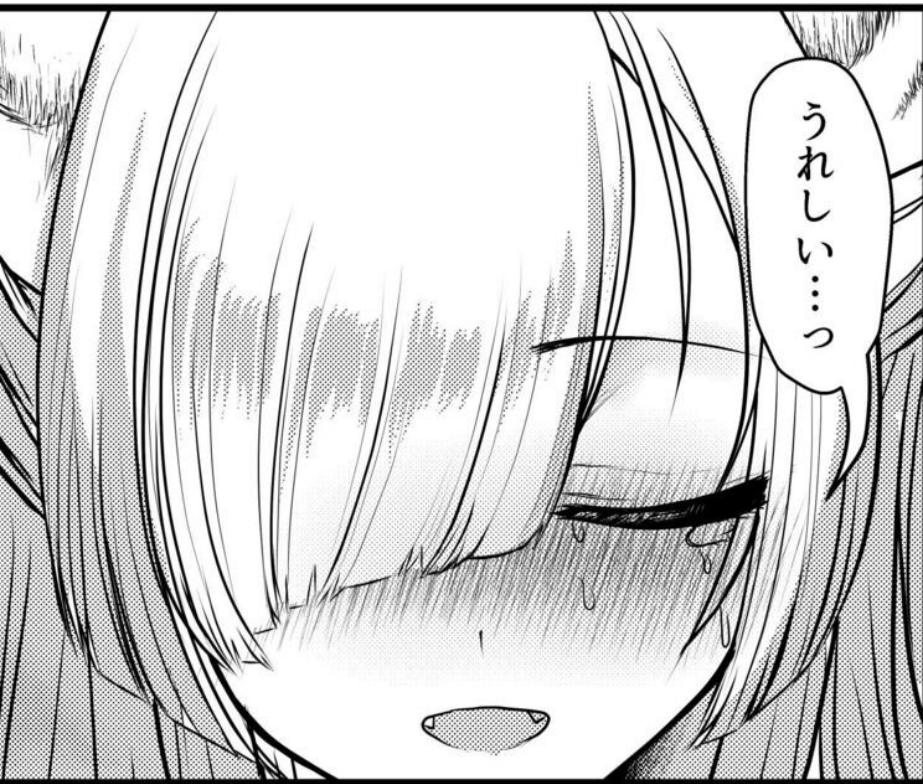
どうした!?
痛いところでも
あったか!?



ずっと寒くて
暗いところに
いたから

もうあの場所に
戻りたくない

このぬくもりを
失いたくないんじや…





クレハ!

あっ!
...うっ

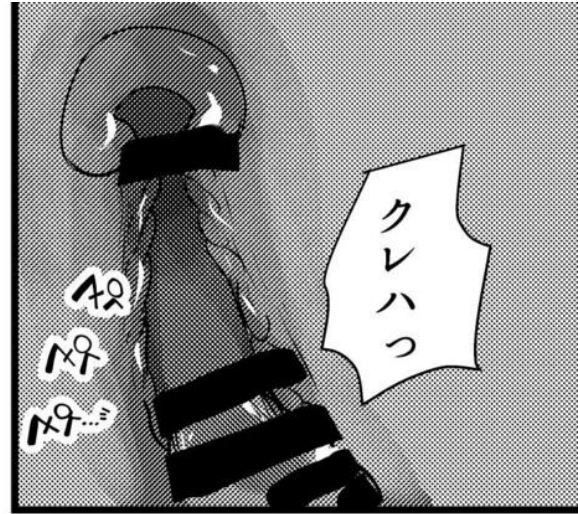
クレハっ
気持ちいいっ

口で出したら
もったいない
じゃろう...?

れろ...
もうでそう









もっともっと
愛して？



まだいけるか？
ご主人

もちろん



はー♡はー♡

はー♡はー♡

